

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	外来がん化学療法適正化に向けた薬剤師による処方支援業務の実態調査		
2. 対象患者	弘前大学医学部附属病院において、外来がん化学療法室にて化学療法を実施した患者さん		
3. 対象となる期間	2018年1月1日 ~ 2018年10月31日		
4. 実施診療科等	薬剤部、腫瘍センター		
5. 研究責任者	氏名	照井一史	所属 薬剤部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	共同研究機関はありません。		
7. 研究の意義	弘前大学医学部附属病院(以下、当院)外来がん化学療法室では、医薬品を有効かつ安全に使用するため、医師・看護師・薬剤師が協力しながら業務を行っています。薬剤師の主な業務は、医薬品が正しく使用されているか確認することです。これまで薬剤師が実施してきた、患者さんの検査値確認、処方内容の確認、および患者さんとの面談などの業務の中で、どのような業務が医薬品の適正使用に役立っているのか解析することで、今後、外来がん化学療法室におけるチーム医療の活性化、および業務改善が図られていくと考えています。		
8. 研究の目的	薬剤師による処方提案(処方せんの内容を改善していくための情報提供)がどの程度実際の処方に反映されているのか解析し、処方提案の基となった情報源(検査値、処方せん内容、面談記録など)は何か明らかにすることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	対象: 当院外来がん化学療法室を利用したすべての患者さん データ抽出期間: 2018/1/1~2018/10/31 収集データ項目: 化学療法プロトコル名、副作用歴、癌腫、抗がん剤名、用法用量、検査項目(末梢血液検査、生化学検査、甲状腺機能検査)、疑義照会内容、処方提案内容 明らかにしたい項目: 薬剤師が提案したお薬に関わる情報が実際の処方に反映された件数、全処方に対する割合、処方せん変更内容と、その情報源 解析方法: 外来化学療法室のデータベース化された業務記録に基づき、上記の項目について統計処理を行います。		
10. 個人情報の保護	本研究はデータを匿名化し、対象となる患者さんを特定する情報を使用致しません。成果公表の際も個人を特定する情報は公表致しません。研究を行う過程において、入手した患者さんの情報は、外部から接続、閲覧不可能なパソコンで厳重に管理されます。対象となる患者さんより拒否の申し出があった際は研究対象から除外しデータを削除致します。ただし、既に匿名化の場合や成果公表済みの場合はデータを修正することはできませんのでご了承ください。		
11. 利益相反に関する状況	本研究は資金源を必要といたしません(新たな資料の取得や測定を要しません)。研究代表者および共同研究者に対して、個人的な資金などの提供や便宜は行われることはなく薬剤部の研究グループによって公正に実施されます。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 薬剤部		
	電話	0172-33-5111	FAX 0172-39-5303